

岩国基地の撤去のための2022行動 レジメ！

22. 11. 26 辺野古カヌー隊 金 治明

玉城デニー知事再選・オール沖縄那覇市長選敗北

9月沖縄県知事では普天間基地の辺野古移設問題が焦点化し、自公政権の押す佐喜真淳（前宜野湾市長）氏を6万票の大差で玉城デニー氏が勝利しました。事務所を開き戦いの拠点とし県知事選を戦い勝利しました。しかし、残念なことにオール沖縄の翁長雄春（故翁長雄志三男）氏が那覇市長選に立ちましたが、城間幹子前市長の裏切りによるオール沖縄勢力の分断により大差で知念覚氏が当選しました。結果、沖縄県11市は全て自公、維新等に独占されました。更に、名護市議会選挙ではオール沖縄勢力の議員が11対15と逆転されました。宜野湾市長は松川市長が再選され、議会では、20対6と完敗でした。3年前には宜野湾市長と宜野湾市議会は首相官邸に赴き「辺野古移設推進の陳情」をしました。自公政権は名護市議会から宜野湾市の様に「普天間基地の辺野古への早期移設」を要望させることは明らかです。岸田政権は名護、宜野湾市の「地元の要望に応える」とし、辺野古新基地建設を更に加速させるでしょう。

軍事強化・中国侵略戦争に突き進む岸田！

岸田政権はウクライナ戦争を口実に「台湾有事」中国脅威と朝鮮危機を煽動し日米安保強化を訴え「敵地攻撃」を可能にする、憲法9条改悪を狙っています。さらに、アメリカは米韓日軍事訓練を再開し8月から連続的に大規模な軍事訓練をドナルド・レーガン（動く軍事基地）を東海（日本海）黄海（南シナ海）、テアオユイタイ（尖閣諸島）付近で行い、中国、朝鮮を挑発して、軍事的緊張を意図的に煽動しています。米韓両空軍は11月19日まで延長し、軍用機250機を投入しています。中国、朝鮮は空爆に晒されているのです。当然、朝鮮は「米韓軍事訓練の即時停止」を求めています。朝鮮は「ミサイルを発射」して抗議しています。しかし、沖縄2紙（沖縄タイムス、琉球新報）、朝日、毎日、読売等大手マスコミは米韓軍事訓練（何時でも敵地攻撃が出来る）を詳しく報道をしていません。米韓軍事訓練とは、朝鮮の中核部を壊滅し国家元首等を殺す「斬首作戦」です。アメリカ、韓国はこの数10年来このような侮辱した軍事訓練を繰り返し、スキあらば戦争に突入出来る体制で挑発をしています。岸田政権は国防の為に辺野古新基地は必要とし、南西諸島の自衛隊ミサイル基地を増強しています。岸田は「敵地攻撃」を主張し、台湾の最も近い与那国にミサイル基地を設置しました。米軍基地が集中する沖縄を再び戦場にするつもりです。

安倍晋を引き継いだ岸田政権はウチナンチューが県民投票、衆参、知事選挙で示した、辺野古基地建設反対の民意を無視して工事を強行しています。

完成のめどが立たない辺野古基地建設！

2014年7月1日「辺野古新基地建設本体工事」着工から8年が過ぎました。しかし、埋め立て工事は全体の14%です。大浦湾の軟弱地盤整備のため「工事設計変更申請」を県知事は「不承認」しているため防衛局は「是正指示訴訟」を提訴し裁判が終わるまで工事に着手出来ません。私達はキャンプシュアブゲート前で県政に建設資材、車両の搬入を身体を張って止めています。そして、連日カヌーに乗って辺野古、安和桟橋に出て海上保安官（以下海保）の身柄の拘束を何度も受けながら非暴力抵抗不服従・説得活動を通して闘っています。私達は全国の仲間を支えられ海での抗議、阻止行動を展開して来ました。翁長知事の遺志を継いだ玉城知事は「ありとあらゆる手段を講じて辺野古基地は造らせない」と宣言して岸田政権に対して一歩も引かずに踏ん張っています。安和、塩川桟橋ゲートでは、11月21、22日を大行動日として、辺野古にダット船（土砂運搬船）に運ばせない抗議、阻止行動をしました。

辺野古では12月14日、埋め立て工事4カ年を期して、カヌー、船団を辺野古、大浦湾に繰り出し、再度埋め立て阻止闘争の拡大強化をします。2023、元旦は初興し（初仕事）を辺野古の浜でオール沖縄が結集し、歌あり、踊りあり、沖縄の演劇三昧で闘い初めにします。カヌー隊は初日の出行動を浜のウチナンチューと合流し、新年の闘い初めにします。

県知事選に、勝利しましたが、11市は辺野古推進です。これからは、冬になり海水は冷たくなりますが、闘いの炎を燃やし海に出ます。

私たちは「勝つことはあきらめないこと！」を合言葉に全国の仲間の声を背に受けてカヌーと船団で辺野古、大浦湾の海を埋め尽くし埋め立て工事をストップさせます。

辺野古の現状と課題

- 1、 コロナ禍により、仲間の減少と時短。
- 2、 新しい仲間の獲得。カヌー教室強化（数は力）
- 3、 安和、塩川、キャンプ・シュアブゲート前（オール沖縄と連帯、強化）
- 4、 「工事設計変更申請の不承認を取り消し。県、辺野古住民訴訟勝利
- 5、 岩国、京丹後、佐世保などの反基地闘争と結合し、在韓米軍基地撤去を